

平成 25 年度補正予算による継続課題に係る継続 評価書

研究機関 : (株)日立製作所、日本電信電話(株)

研究開発課題 : 超高速・低消費電力光ネットワーク技術の研究開発
課題 I (b)光多値伝送向け高性能信号処理技術

研究開発期間 : 平成 24 ～ 26 年度

代表研究責任者 : 坂本 健一

■ 総合評価 : 適

(評価点 21点 / 25 点中)

(総論)

引き続き研究開発を推進することが適当。

(コメント)

- 計画通りに進捗しており、今後も十分な成果が期待できる。
- 今後活発化する標準化活動において、本研究開発の成果が多く活かされるような取り組みを期待したい。
- 半導体変調器による 64QAM 発生など、当初目標以上の成果をあげている。最終年度の目標達成に向けて、標準化、学会の動向を見ながら柔軟に計画を立てている。

(1) 当該年度における研究開発の目標達成(見込み)状況

(5～1の5段階評価) : 評価5(評価点)

(総論)

計画通りの成果が得られ、非常に進歩的な成果等が得られている。

(コメント)

- 世界初となる64QAM変調信号の生成に成功するなど、計画通りの成果が得られている。
- 当初目標以上の成果をあげていることは極めて高く評価できる。
- 研究発表も予定通り順調に行われている。

(2) 当該年度における研究資金使用状況

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

予算計画書あるいは適切な理由に基づく支出変更理由に則り、有効、効率的かつ適正な執行が行われている。

(コメント)

- 計画書記載値にミスがあったということであるが、研究費はほぼ当初の予算計画通り執行されている。

(3) 研究開発実施計画

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

実行可能であり有効かつ効率的な計画である。さらに、工程管理などの面で優れた取り組みが認められる。

(コメント)

- 動作検証・性能検証、課題間連携を含めて、実行可能な計画になっている。
- 実施計画は過去の研究開発達成状況を踏まえて立案された妥当な内容となっている。
- 標準化、学会の動向を見ながら柔軟に計画を立てている。

(4) 予算計画

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

有効かつ効率的な予算計画が組まれており、積算額も妥当である。

(コメント)

- 最終年度の目標達成に向けて有効かつ効率的な予算計画が組まれており、積算額も含めて妥当である。

(5) 実施体制

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

適切な実施体制が組まれており、計画通りの事業進捗が見込まれる。

(コメント)

- 若干の変更はあったが、課題間の連携を含めて、適切な実施体制が組まれており、計画通りの進捗が見込まれる。